

第1回 長浜市住生活基本計画策定委員会 会議次第

日時：令和7年8月12日（火）午前10時～

場所：長浜市役所4階 4-A会議室

1 開会あいさつ

2 委員紹介 資料1

3 委員長、副委員長の選出

4 議事

(1) 長浜市住生活基本計画の改訂・進捗状況について 資料2

(2) 長浜市住生活基本計画の改案方針について 資料3、資料4

5 その他

長浜市住生活基本計画策定委員会設置要領

(趣旨)

第1条 長浜市住生活基本計画（以下「基本計画」という。）を策定するに当たり、専門的かつ幅広い分野の意見を聴取し、計画の充実を図るため、長浜市住生活基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次に掲げるものとする。

- (1) 基本計画の基本理念および課題に関すること。
- (2) 基本計画の目標および推進に関すること。
- (3) その他、基本計画に関し必要な事項

(委員)

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
 - (2) 関係団体の推薦を受けた者
 - (3) 女性人材バンク「かがやきネット」登録者
 - (4) その他市長が必要と認める者
- 2 委員の任期は、前条の規定による委嘱の日から令和8年3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。ただし、委員長が選出されていないときは、委員会の招集は市長が行う。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第6条 委員会は、会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、都市建設部住宅課において処理する。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要領は、令和7年4月1日から施行する。

長浜市住生活基本計画策定委員会委員名簿

※敬称略

| 構成 | 氏名 | 備考 |
|----------------------------------|-------|-------------------------------|
| 学識経験者 (要綱 第3条1号) | 濱崎 一志 | 元滋賀県立大学 教授 長浜市空家等対策推進会議 委員 |
| 住宅セーフティネット 関係者 (要綱 第3条第2号) | 大森 憲 | 滋賀県居住支援協議会 |
| 不動産関係者 (要綱 第3条第2号) | 為永 義正 | 公益社団法人滋賀県宅地建物取引業協会 |
| 建築関係者 (要綱 第3条第2号) | 千葉 薫 | 滋賀県建築士会 |
| マンション関係者 (要綱 第3条第2号) | 野村 貞之 | 滋賀県マンション管理士会 |
| 福祉事業関係者 (要綱 第3条第2号) | 山岡 伸次 | 長浜市社会福祉協議会 |
| かがやきネット (要綱 第3条第3号) | 宮本 麻里 | かがやきネット |
| 長浜市住宅課 (要綱 第3条第4号) | 草野 誠 | 長浜市都市建設部住宅課課長 |

長浜市住生活基本計画の改定について

1 要旨

本市では「安全・安心で住みごこちを高める豊かな住まいづくり」を基本理念に掲げ、平成26年12月に「長浜市住生活基本計画」を策定し、地域の風土に合った住み続けられる住まいづくりや、多様な世代が安全・安心に暮らせる住宅・住環境の形成等の実現に向け様々な施策を進めてきました。

計画策定から10年が経過し、全国的な人口減少・少子高齢化のさらなる進行や、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う住まい方・働き方の変化、自然災害の激甚化などの社会情勢の変化により、住生活を取り巻く環境が大きく変化しています。

このような中、令和3年3月には、国の住生活基本計画が改定され、また令和4年3月には、滋賀県の住生活基本計画が改定されました。

本市においても、社会情勢の変化を踏まえ、今後の住生活に関する施策の展開方向を示すことを目的として、計画の改定を行うこととします。

2 これまでの経過

- 令和7年3月10日 産業建設常任委員会への報告（着手）
- 6月17日 長浜市住生活基本計画の進捗状況確認（庁内照会）
- 6月20日 市民アンケートの実施（郵送）
- 7月21日 市民アンケートの受付終了
- 8月12日 第1回長浜市住生活基本計画策定委員会

○市民アンケート調査

〈目的〉長浜市住生活基本計画の改定の参考とするため、住環境や住宅、今後の住まいづくりについて意見・要望を確認したもの

〈対象〉18歳以上の無作為抽出された市民1,000名

〈回収率〉40.6%（406人回答）

3 改定のポイント

現行の長浜市住生活基本計画の進捗状況や社会情勢が大きく変化しており、人々の住生活に対する満足度の指標等も多様化していることから、市民アンケート調査の結果をもとに、以下3つの視点を計画の改定案に盛り込みます。

- ① 「社会環境の変化」の視点
- ② 「居住者・コミュニティ」の視点
- ③ 「住宅ストック・産業」の視点

※詳細は資料3、「4方針（案）」を参照

4 今後のスケジュール（案）

| | | |
|------|--------|-------------------------|
| 令和7年 | 9月2日 | 庁議（経過報告） |
| | 9月17日 | 産業建設常任委員会（経過報告） |
| | 10月上旬 | 全庁意見照会 |
| | 11月上旬 | 第2回長浜市住生活基本計画策定委員会（素案） |
| | 11月19日 | 庁議（パブコメ前） |
| | 12月15日 | 産業建設常任委員会（パブコメ前） |
| | 12月中旬～ | 計画案に対するパブリックコメント（1か月間） |
| 令和8年 | 1月下旬 | 庁内照会 |
| | 2月上旬 | 第3回長浜市住生活基本計画策定委員会（最終案） |
| | 2月中旬 | 庁議（最終案） |
| | 3月16日 | 産業建設常任委員会（最終報告） |
| | 3月下旬 | 長浜市住生活基本計画公表 |

長浜市住生活基本計画の進捗状況について

1. 長浜市住生活基本計画(令和2年3月変更(延長))の目標

| | 基本目標 | 施策の展開方向 | 対応事業(一部抜粋) |
|-----|------------------------|-----------------------|--|
| 目標① | 地域の風土に合った住み続けられる住まいづくり | 地域資源の活用 | 長浜市産材利用促進事業 古民家の活用支援 等 |
| | | 景観形成への配慮 | 景観保全対策事業(景観法に基づく届出制度) 都市緑化推進事業 等 |
| | | 歩いて暮らせる生活圏の形成 | デマンドタクシー運行維持費補助事業 コミュニティバス運行事業 等 |
| | | 多様な公共交通体系の整備 | 地方バス路線維持費補助事業 公共交通利用促進事業 等 |
| 目標② | 誰もが快適に暮らせる住まいづくり | ユニバーサルデザインの促進 | 介護保険住宅改修費支給事業 高齢者施設整備支援事業 バリアフリー住宅改修推進制度 等 |
| | | 環境負荷低減への配慮 | 再エネ・省エネ導入促進事業 省エネ住宅改修推進制度 等 |
| | | 快適な暮らしを支える社会基盤の整備 | 都市計画法開発許可 市道整備アクションプログラム 公共下水道整備事業 等 |
| | | 地域産材を使用した住宅の促進 | 長浜市産材利用促進事業 |
| 目標③ | 安全・安心な住まいづくり | 防災・防犯施策の強化 | 雪寒対策 (除雪機械購入補助金・地域除雪作業委託補助金) 木造住宅耐震補強案作成委託事業 自主防犯推進事業 等 |
| | | 子育て環境の充実 | 子育てバリアフリー制度事業(認証制度)の啓発 児童遊園等の管理 等 |
| | | 地域コミュニティの維持・向上 | 自治会館整備・自治会交付金事業 地域活力プランナー設置事業 等 |
| | | 安心して長く住める住宅の啓発・改修支援 | ブロック塀等の安全確保事業 住宅相談窓口の設置 等 |
| 目標④ | 高齢者やしょうがい者にやさしい住まいづくり | 住宅などのバリアフリー化の促進 | 在宅重度しょうがい者住宅改造費助成事業 高齢者小規模住宅改造経費助成事業 等 |
| | | 高齢者やしょうがい者の居住の安定化 | 高齢者小規模住宅改造経費助成事業 |
| | | 高齢者やしょうがい者向けの良質な住宅の供給 | しょうがい福祉施設整備支援事業 高齢者施設福祉空間等整備事業 等 |
| 目標⑤ | 新しい暮らしを生み出す住まいづくり | 若い世代を中心とする定住促進 | まちなか居住推進事業 長浜市居住促進事業 等 |
| | | 新たな住人の創出・確保 | 移住・定住促進事業 定住住宅改修促進事業 等 |
| | | 空き家の適正管理と利活用促進 | 移住・定住促進事業 空き家対策事業 等 |
| 目標⑥ | 住宅セーフティネットの充実する住まいづくり | 新たな公営住宅ストックの供給 | 市営住宅整備事業 特定優良賃貸住宅家賃対策事業 等 |
| | | 公営住宅ストックの居住性の向上 | 市営住宅整備事業 市営住宅管理事業 等 |
| | | 公営住宅ストックの有効活用 | 市営住宅管理事業 |

2. 各目標の取り組み状況・発見された課題

①地域の風土に合った住み続けられる住まいづくり

- 長浜市中高層等建築物に関する指導要綱に基づき、建築行為について緑化等の環境保全の指導を行い、景観形成への配慮した取り組みを行いました。
- 病院や商業施設などの主要な施設に行く路線バスやデマンドタクシー、コミュニティバス「おでかけワゴン」の運行を継続することで、市民生活に必要な交通手段を確保している。しかし、人口減少等の要因により利用者も減少している現状もあるため、地域の実情に応じた持続可能な地域公共交通の維持・確保を検討していく必要があります。

【数値実績】

- 都市計画区域面積に対する緑地の割合（H24：73% → R6：74%）
- 路線バス等の利用者数（H24：432,124人／年 → R6：257,340人／年）

②誰もが快適に暮らせる住まいづくり

- 生活道路の整備改善や上下水道の整備など、快適な暮らしを支える社会基盤の整備を進め、各地域の生活環境の向上に努めました。
- 地域環境においても太陽光エネルギーの利用促進等を通じ、安全で永続的に利用可能なエネルギーの導入を推進し、地域環境への負荷低減を図る住まいづくりを進めました。

【数値実績】

- 市道の改良率（H24：53.6% → R6：72.7%）
- 水洗化率（H24：91.1% → R6：95.2%）
- 再生可能エネルギー量（H24：600万kw → R6：6,820万kw）

③安全・安心な住まいづくり

- 地域コミュニティ維持・向上のため、自治会・地域づくり協議会を対象とした支援事業を継続的に行い、地域の課題解決を図るとともに住民とのふれあい活動や環境美化等の活動を促進しました。また、自治会が設置するLED防犯灯に補助金を交付することで、LED防犯灯の普及を促進し、夜間における犯罪防止に努めました。

【数値実績】

- 自治会館整備・自治会交付金事業（R6：412自治会、42,808世帯に交付）
- 自主防犯推進事業（R6：31自治会、43灯を設置）

④高齢者やしょうがい者にやさしい住まいづくり

○高齢者やしょうがい者が住みやすい住宅を促進・整備するため、バリアフリー改修にかかる費用の補助事業を継続的に展開することで、移動や日常生活が安全で快適になるなど、住環境の向上に繋がりました。

【数値実績】

- 在宅重度しょうがい者住宅改造費助成事業（R6：6件助成/年）
- 高齢者小規模住宅改造経費助成事業（R6：6件助成/年）

⑤新しい暮らしを生み出す住まいづくり

○若い世代の定住を促進するため、移住定住促進事業や定住住宅改修促進事業等、市外からの若い世帯の転入を促進する取り組みを継続的に行いましたが、一方で市内における新築家屋取得数は減少していることから、若い世代の転入をより促進するための移住定住支援施策を検討していきます。

【数値実績】

- 新築家屋取得数（H25：512件/年 → R6：352件/年）

⑥住宅セーフティネットの充実する住まいづくり

- 市営住宅及び改良住宅への入居募集を継続し、住宅セーフティネットとしての公営住宅ストックの有効活用につながりました。
- 今後の課題として、施設の長寿命化や入居者の居住性の向上を図る取り組みを行っていく必要がある。

【数値実績】

- 市営住宅管理戸数（H25：682戸 → R6：565戸）※目標数値500戸
- 市営住宅における子育て世帯の入居戸数（H25：57戸 → R6：46戸）

3. 総括

各目標において一定の成果が上がっており、住生活基本計画という形で施策の目的・支援対象の明確化等の方向性の位置づけが機能していると思われます。

しかし、計画策定当時と比べて、急速なデジタル化や新型コロナウイルスの蔓延等、社会情勢が大きく変化しており、人々の住生活に対する満足度の指標等も多様化しています。

本計画の改訂においては、社会情勢の変化に応じた人々の多様化したニーズを把握し、継続すべきもの・廃止すべきもの・新たに取り組むべきものの視点を盛り込むべきものと考えます。

長浜市住生活基本計画の改定について

1. 【現行】長浜市住生活基本計画（令和2年3月変更（延長））の体系

基本理念 | 安全・安心で住み心地を高める 豊かな住まいづくり

| | | |
|-----|------------------------|-----------------------|
| 目標① | 地域の風土に合った住み続けられる住まいづくり | 地域資源の活用 |
| | | 景観形成への配慮 |
| | | 歩いて暮らせる生活圏の形成 |
| | | 多様な公共交通体系の整備 |
| 目標② | 誰もが快適に暮らせる住まいづくり | ユニバーサルデザインの促進 |
| | | 環境負荷低減への配慮 |
| | | 快適な暮らしを支える社会基盤の整備 |
| 目標③ | 安全・安心な住まいづくり | 地域産材を使用した住宅の促進 |
| | | 防災・防犯施策の強化 |
| | | 子育て環境の充実 |
| | | 地域コミュニティの維持・向上 |
| 目標④ | 高齢者やしょうがい者にやさしい住まいづくり | 安心して長く住める住宅の啓発・改修支援 |
| | | 住宅などのバリアフリー化の促進 |
| | | 高齢者やしょうがい者の居住の安定化 |
| 目標⑤ | 新しい暮らしを生み出す住まいづくり | 高齢者やしょうがい者向けの良質な住宅の供給 |
| | | 若い世代を中心とする定住促進 |
| | | 新たな住人の創出・確保 |
| 目標⑥ | 住宅セーフティネットの充実する住まいづくり | 空き家の適正管理と利活用促進 |
| | | 新たな公営住宅ストックの供給 |
| | | 公営住宅ストックの居住性の向上 |

2. 住生活をめぐる現状と課題

世帯の状況

図 人口および世帯数 (出典：国勢調査)

| 年 | 人口 | 世帯数 |
|---------------|---------|--------|
| 平成22年 (2010年) | 124,131 | 44,000 |
| 平成27年 (2015年) | 118,193 | 44,000 |
| 令和2年 (2020年) | 113,636 | 44,000 |

図 18歳未満の親族のいる一般世帯数 (出典：国勢調査)

| 年 | 世帯数 |
|---------------|--------|
| 平成22年 (2010年) | 12,228 |
| 平成27年 (2015年) | 11,290 |
| 令和2年 (2020年) | 10,105 |

図 65歳以上のいる世帯数 (出典：国勢調査)

| 年 | 65歳以上単身世帯数 | 夫婦とも65歳以上世帯数 |
|---------------|------------|--------------|
| 平成22年 (2010年) | 3,160 | 3,522 |
| 平成27年 (2015年) | 3,638 | 4,002 |
| 令和2年 (2020年) | 4,212 | 4,569 |

図 生活保護世帯数 人員 (出典：市政のあらまし)

| 年 | 生活保護世帯数 | 生活保護人員 |
|--------------|---------|--------|
| H22年 (2010年) | 1,097 | 735 |
| H27年 (2015年) | 1,173 | 821 |
| R2年 (2020年) | 982 | 749 |

○子育て世帯数（18歳未満の親族のいる一般世帯数）は減少傾向。
 ○高齢者（65歳以上）世帯数は増加している。
 ○生活保護世帯数は平成27（2015）年以降減少傾向。（全国的には増加傾向）

気候変動問題

○令和4（2022）年に「長浜市ゼロカーボンシティ」を宣言。また、令和5（2023）年に「ながはまゼロカーボンビジョン 2050」を策定し、市全体の温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指している。

住宅ストック

○本市では、旧耐震基準の住宅ストックが3割程度を占めている。

図 本市住宅の建築年別ストック割合 (出典：住宅・土地統計調査)

| 建築年 | 割合 |
|-----------|-------|
| 昭45以前 | 15.7% |
| 昭46～55年 | 14.8% |
| 昭56～平成2年 | 13.6% |
| 平成3～12年 | 15.0% |
| 平成13～17年 | 9.3% |
| 平成18～22年 | 7.3% |
| 平成23～27年 | 6.4% |
| 平成28～令和2年 | 8.4% |
| 令和3～5年9月 | 2.4% |

○国の住宅・土地統計調査による令和5（2023）年の市内空家率は18.5%。平成25（2013）年より7.4ポイント上昇。居住目的のない空き家が増加する中、周辺に悪影響を及ぼす管理不全の空き家も増加。
 ○建築資材価格や人件費の上昇を原因として住宅価格の高騰も激しくなっており、住宅着工戸数や住宅用地面積の伸び悩みが全国的な傾向として見られる。

新しい住まい方、多様な住まい方

○全国的な傾向として、働き方改革やコロナ禍を契機として、新しいライフスタイルや多様な住まい方への関心が高まってきている。
 ○また、テレワーク等を活用した地方、郊外での居住、二地域居住など複数地域での住まいを実践する動きが本格化している。
 ○本市での在宅勤務（オンライン授業）の利用は、会社員等や学生の内、5%程度。また共働き世帯も年々増加しており、在宅勤務と加えて働き方の多様化が顕著になっている。

市民アンケート調査結果（令和7年度）
 問 在宅勤務（またはオンライン授業）を行っていますか

| 回答 | 割合 |
|----------|-------|
| 行っていない | 80.8% |
| 無回答 | 13.5% |
| 毎日 | 0.4% |
| 週に1～2日程度 | 0.9% |
| 週に3～4日程度 | 0.9% |
| 月に数回程度 | 3.5% |

新技術の活用、DXの進展等

○全国的に5Gの整備や社会経済のDXが進展し、新しいサービスの提供や技術開発が進んでいる。
 ○住宅分野においても、コロナ禍を契機として、遠隔・非接触の顧客対応やデジタル化等、DXが急速に進展している。

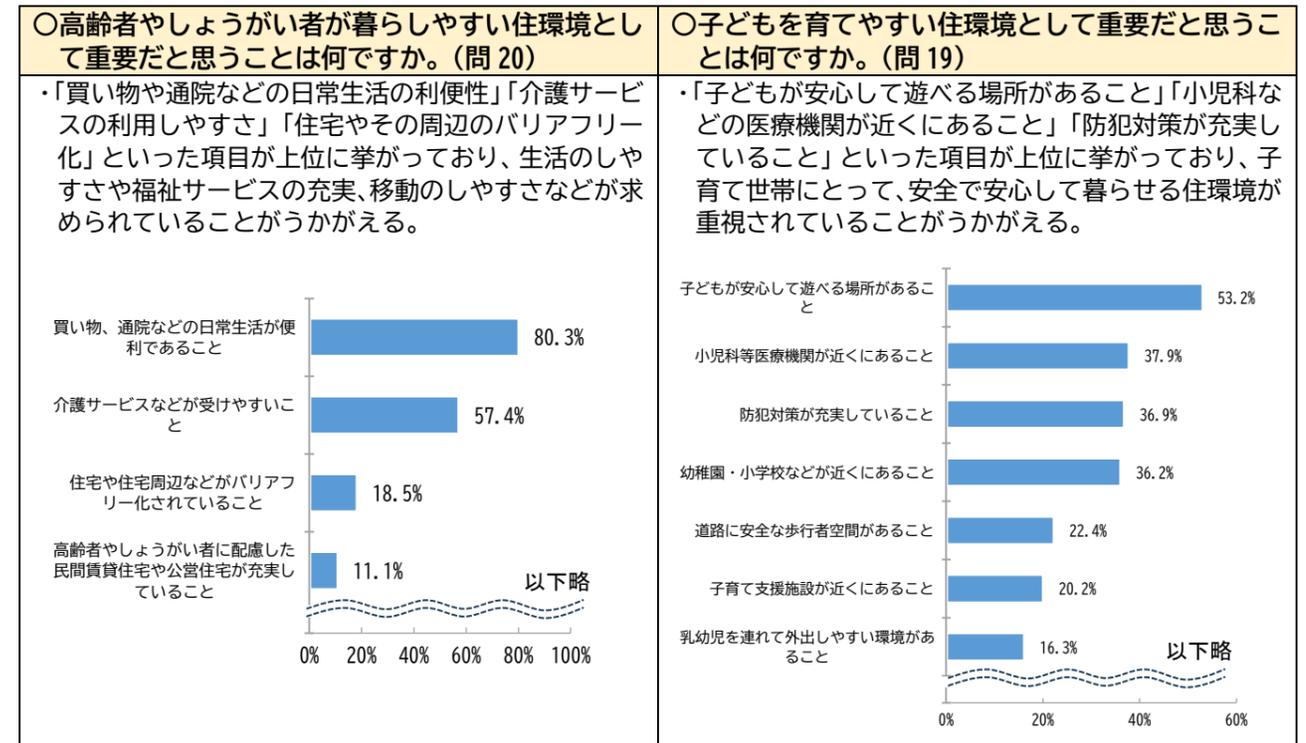
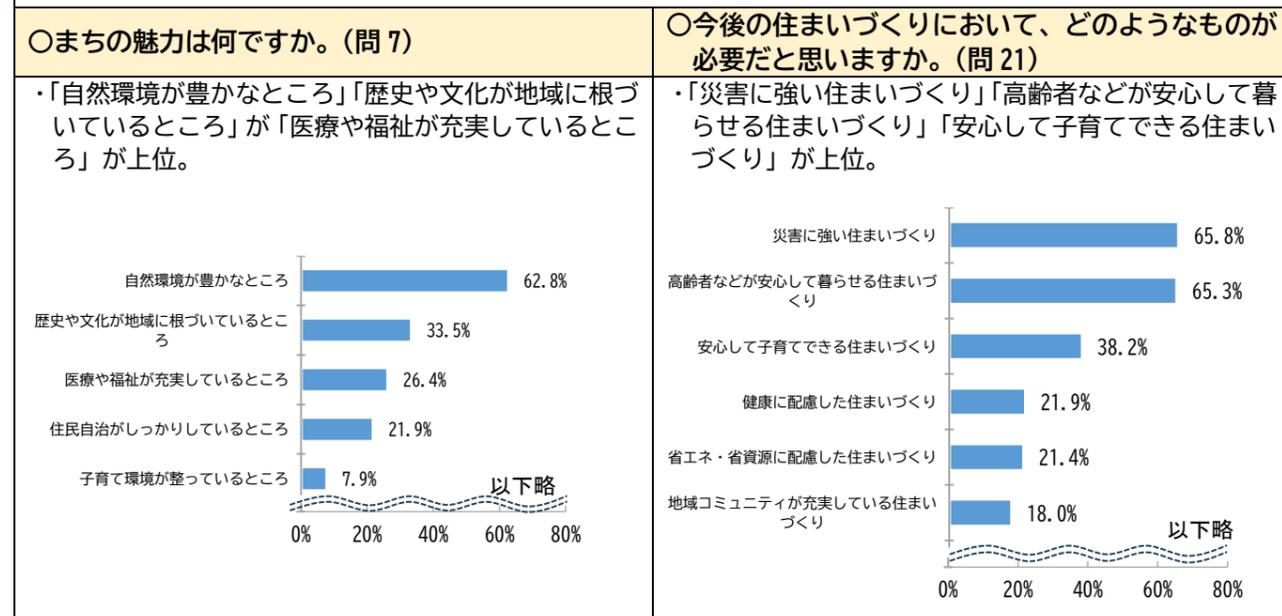
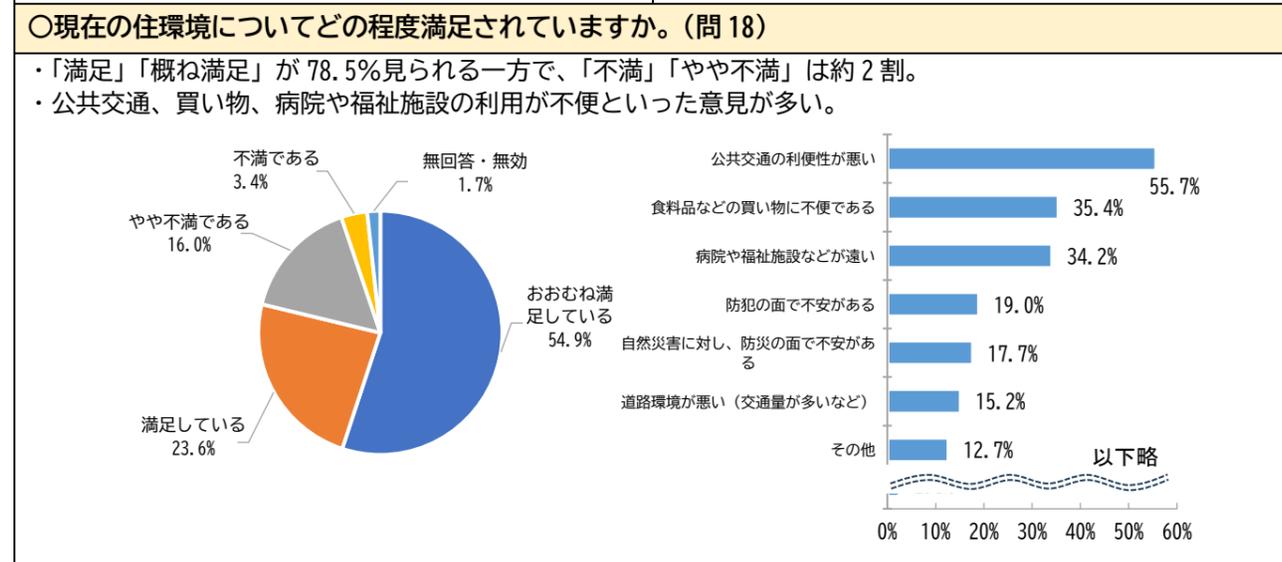
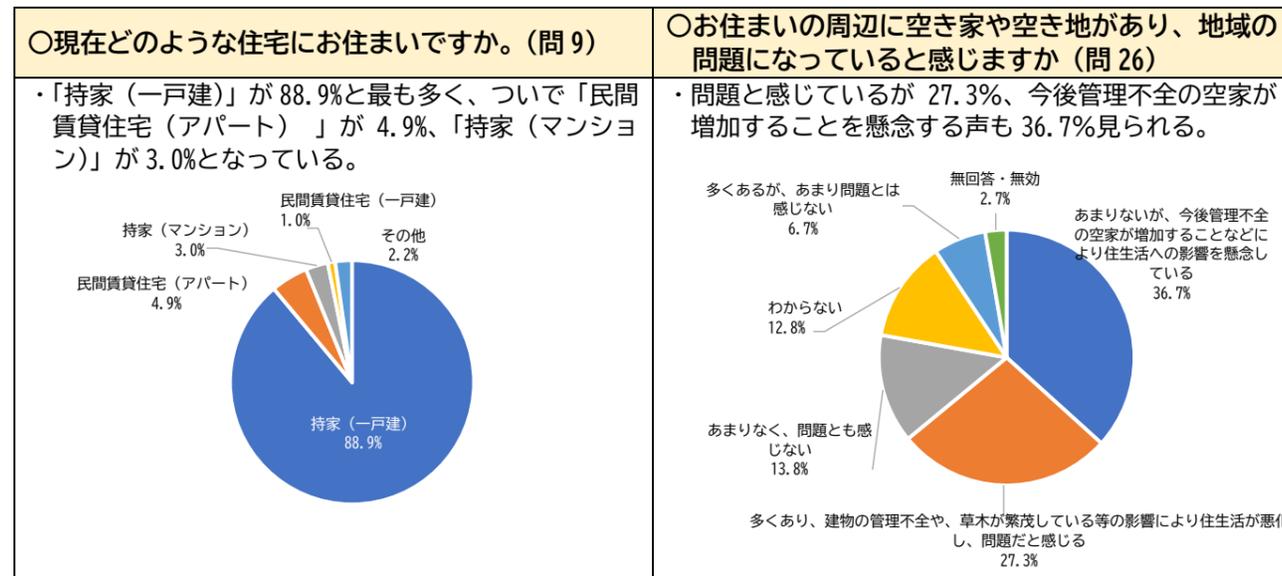
災害と住まい

○近年、自然災害が頻発・激甚化しており、住まいの選択にあたっては、災害時の安全性のほか、高齢者などが安心して暮らせる住まいづくり、子育て世代が安心して子育てできる住まいづくりが上位を占める。（次頁、アンケート結果「今後の住まいづくりにおいて、どのようなものが必要だと思いますか」を参照）

3. 市民アンケート調査の結果（抜粋）

調査期間 令和7（2025）年6月20日～7月21日

配布 18歳以上の市民1,000人を無作為抽出。回収率40.6%（配布：郵送、回収：郵送とWEB回答併用）



4. 方針（案）

- | 「社会環境の変化」の視点 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全な住宅・住宅地の形成等 <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動に伴う夏季の異常高温対策（住宅改修率の向上） ・豪雨等の激甚化への備え（立地適正化計画の推進）、地震災害への備え（住宅の耐震化の推進） ・災害発生時における被災者の住まいの確保 ○ 新しい生活観、DXの推進等 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅に関する情報収集、契約・取引プロセスのDX支援 |
| 「居住者・コミュニティ」の視点 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもを産み育てやすい住まい <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心して暮らせる住環境整備の推進 ○ 高齢者等が安心して暮らせるコミュニティ等 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の住まいやすい住宅支援 ○ セーフティネット機能の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の計画的な建替え等や、バリアフリー化、長寿命化等のストック改善の推進 |
| 「住宅ストック・産業」の視点 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅循環システムの構築等 <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化に向けた適切な維持管理・修繕、マンションの再生（建替え・マンション敷地売却）の円滑化 ・長寿命化でライフサイクルCO2排出量が少ない長期優良住宅やZEH化の支援 ○ 空き家の管理・除却・利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・所有者等による適切な管理の促進。周辺の居住環境に悪影響を及ぼす管理不全空家の除却等や特定空家等に係る対策の強化、空家バンク等を活用した空き家等の既存住宅の活用の推進 ○ 移住・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・若者・子育て夫婦世帯の住宅取得を手厚く支援 ・長浜市の魅力や他市からの移住支援政策をパッケージングしてPR |

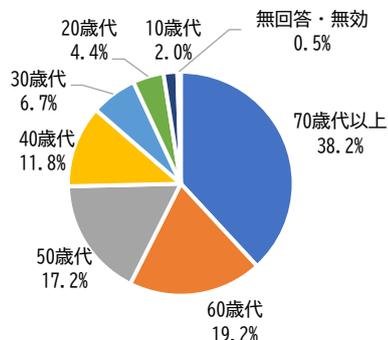
住宅や住環境に関する市民アンケート調査

回答者数： n=406 回収率： 40.6%

【問1】 あなたの年齢（年代）をお聞きします。【〇は1つ】

「70歳代以上」が38.2%、「60歳代」が19.2%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|--------|-----|--------|
| 10歳代 | 8 | 2.0% |
| 20歳代 | 18 | 4.4% |
| 30歳代 | 27 | 6.7% |
| 40歳代 | 48 | 11.8% |
| 50歳代 | 70 | 17.2% |
| 60歳代 | 78 | 19.2% |
| 70歳代以上 | 155 | 38.2% |
| 無回答・無効 | 2 | 0.5% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

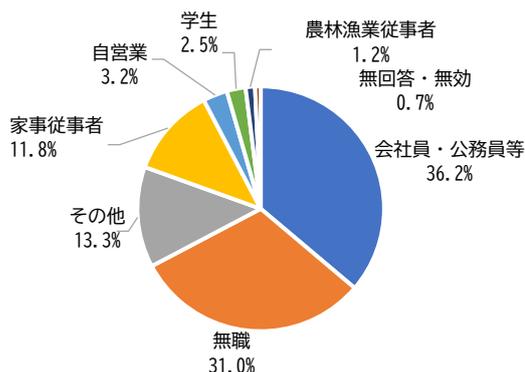


| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 無効 | 1 | 0.2% |

【問2】 あなたのご職業をお聞きします。【〇は1つ】

「会社員・公務員等」が36.2%、「無職」が31.0%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|----------|-----|--------|
| 会社員・公務員等 | 147 | 36.2% |
| 自営業 | 13 | 3.2% |
| 農林漁業従事者 | 5 | 1.2% |
| 家事従事者 | 48 | 11.8% |
| 学生 | 10 | 2.5% |
| 無職 | 126 | 31.0% |
| その他 | 54 | 13.3% |
| 無回答・無効 | 3 | 0.7% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |



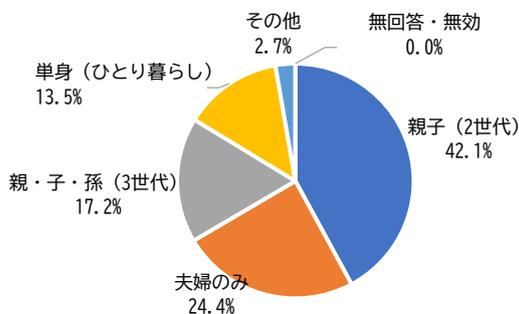
| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 3 | 0.7% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

【問3】 あなたと同居されているご家族の形態と構成をお聞きします。

①ご家族の形態はどれですか。【〇は1つ】

「親子（2世代）」が42.1%、ついで「夫婦のみ」が24.4%、「親・子・孫（3世代）」が17.2%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 単身（ひとり暮らし） | 55 | 13.5% |
| 夫婦のみ | 99 | 24.4% |
| 親子（2世代） | 171 | 42.1% |
| 親・子・孫（3世代） | 70 | 17.2% |
| その他 | 11 | 2.7% |
| 無回答・無効 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

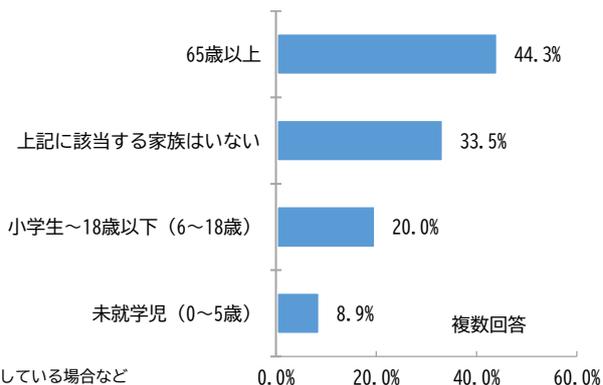


| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

②あなたを含めたご家族の中に、次の（選択肢）の年齢層の方はいらっしゃいますか。【〇はいくつでも】

「65歳以上」が44.3%、ついで「上記に該当する家族はいない」が33.5%、「小学生～18歳以下（6～18歳）」が20.0%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------------|-----|--------|
| 未就学児（0～5歳） | 36 | 8.9% |
| 小学生～18歳以下（6～18歳） | 81 | 20.0% |
| 65歳以上 | 180 | 44.3% |
| 上記に該当する家族はいない | 136 | 33.5% |
| 無回答・無効 | 30 | 7.4% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |
| 無回答 | 20 | 4.9% |
| 無効 | 10 | 2.5% |

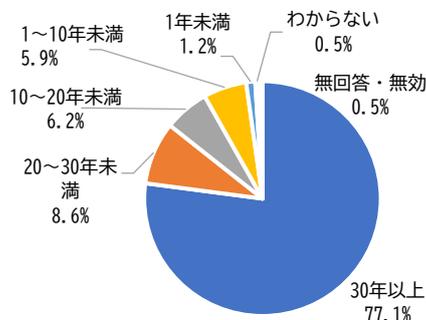


※ 無効は、「未就学児」がいると答える一方で「上記に該当する家族はいない」と回答している場合など

【問4】あなたは長浜市にどのくらいお住まいですか。【〇は1つ】

「30年以上」が77.1%、ついで「20～30年未満」が8.6%、「10～20年未満」が6.2%となっています。

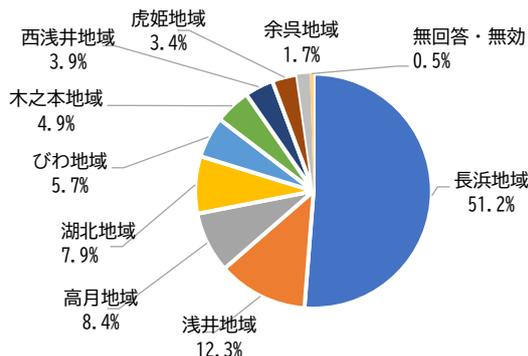
| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|----------|-----|--------|
| 1年未満 | 5 | 1.2% |
| 1～10年未満 | 24 | 5.9% |
| 10～20年未満 | 25 | 6.2% |
| 20～30年未満 | 35 | 8.6% |
| 30年以上 | 313 | 77.1% |
| わからない | 2 | 0.5% |
| 無回答・無効 | 2 | 0.5% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



【問5】あなたのお住まいの地域はどこですか。

「長浜地域」が51.2%、ついで「浅井地域」が12.3%、「高月地域」が8.4%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|--------|-----|--------|
| 長浜地域 | 208 | 51.2% |
| 浅井地域 | 50 | 12.3% |
| びわ地域 | 23 | 5.7% |
| 虎姫地域 | 14 | 3.4% |
| 湖北地域 | 32 | 7.9% |
| 高月地域 | 34 | 8.4% |
| 木之本地域 | 20 | 4.9% |
| 余呉地域 | 7 | 1.7% |
| 西浅井地域 | 16 | 3.9% |
| 無回答・無効 | 2 | 0.5% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |
| 無回答 | 2 | 0.5% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



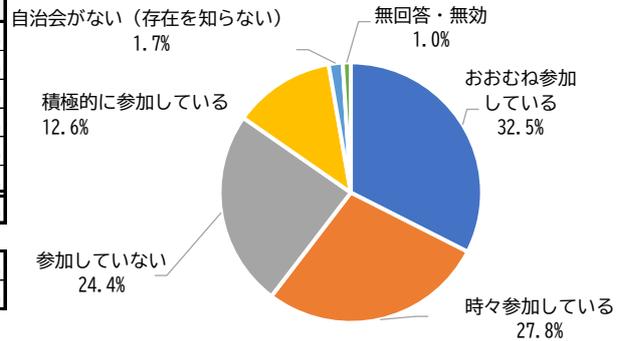
【問6】地域コミュニティへの参加についてお聞きします。

①自治会活動など地域の行事にどのくらい参加していますか。【〇は1つ】

「おおむね参加している」が32.5%と最も多く、ついで「時々参加している」が27.8%、「参加していない」が24.4%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-----------------|-----|--------|
| 積極的に参加している | 51 | 12.6% |
| おおむね参加している | 132 | 32.5% |
| 時々参加している | 113 | 27.8% |
| 参加していない | 99 | 24.4% |
| 自治会がない（存在を知らない） | 7 | 1.7% |
| 無回答・無効 | 4 | 1.0% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 4 | 1.0% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



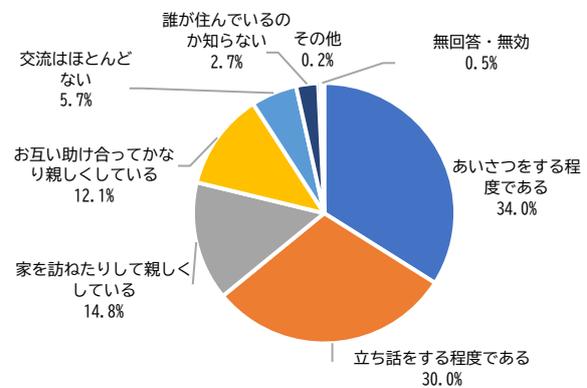
②隣近所の方とどのくらい交流されていますか。【〇は1つ】

「あいさつをする程度である」が34.0%と最も多く、ついで「立ち話をする程度である」が30.0%、「家を訪ねたりして親しくしている」が14.8%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-------------------|-----|--------|
| お互い助け合っかなり親しくしている | 49 | 12.1% |
| 家を訪ねたりして親しくしている | 60 | 14.8% |
| 立ち話をする程度である | 122 | 30.0% |
| あいさつをする程度である | 138 | 34.0% |
| 交流はほとんどない | 23 | 5.7% |
| 誰が住んでいるのか知らない | 11 | 2.7% |
| その他 | 1 | 0.2% |
| 無回答・無効 | 2 | 0.5% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 無効 | 1 | 0.2% |

※ 無効は複数回答の場合

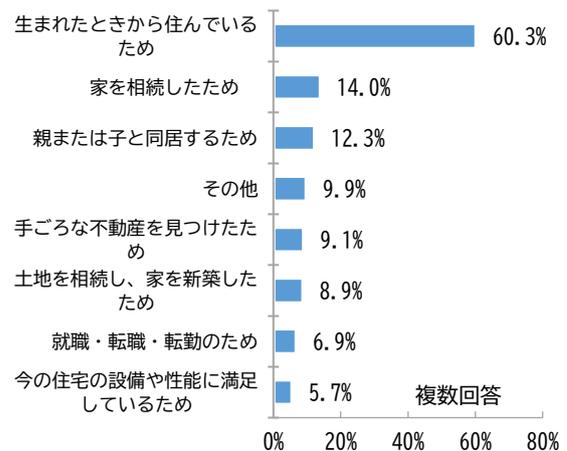


【問7】なぜ今、長浜市に住んでいますか。【〇は2つまで】

「生まれたときから住んでいるため」が60.3%と最も多く、ついで「家を相続したため」が14.0%、「親または子と同居するため」が12.3%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|---------------------|-----|--------|
| 生まれたときから住んでいるため | 245 | 60.3% |
| 親または子と同居するため | 50 | 12.3% |
| 家を相続したため | 57 | 14.0% |
| 土地を相続し、家を新築したため | 36 | 8.9% |
| 就職・転職・転勤のため | 28 | 6.9% |
| 手ごろな不動産を見つけたため | 37 | 9.1% |
| 今の住宅の設備や性能に満足しているため | 23 | 5.7% |
| その他 | 40 | 9.9% |
| 無回答・無効 | 5 | 1.2% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 5 | 1.2% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

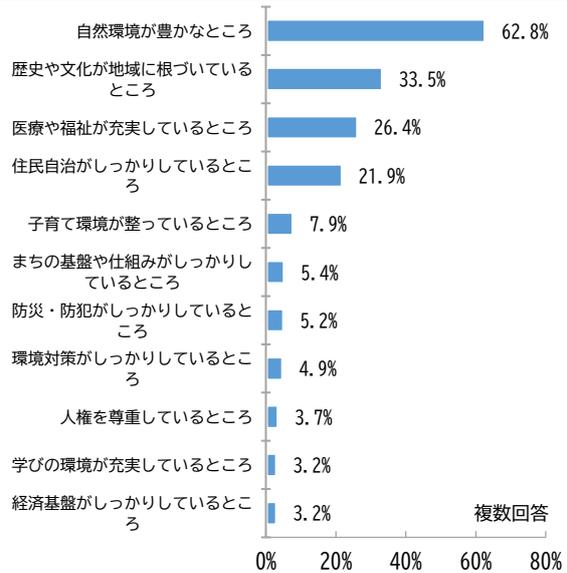


【問8】長浜市に住んでいて感じるまちの魅力は何ですか。【〇は3つまで】

「自然環境が豊かなところ」が62.8%と最も多く、ついで「歴史や文化が地域に根づいているところ」が33.5%、「医療や福祉が充実しているところ」が26.4%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-----------------------|-----|--------|
| 住民自治がしっかりしているところ | 89 | 21.9% |
| 人権を尊重しているところ | 15 | 3.7% |
| 学びの環境が充実しているところ | 13 | 3.2% |
| 医療や福祉が充実しているところ | 107 | 26.4% |
| 防災・防犯がしっかりしているところ | 21 | 5.2% |
| 子育て環境が整っているところ | 32 | 7.9% |
| 自然環境が豊かなところ | 255 | 62.8% |
| 環境対策がしっかりしているところ | 20 | 4.9% |
| 歴史や文化が地域に根づいているところ | 136 | 33.5% |
| 経済基盤がしっかりしているところ | 13 | 3.2% |
| まちの基盤や仕組みがしっかりしているところ | 22 | 5.4% |
| 無回答・無効 | 32 | 7.9% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 32 | 7.9% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

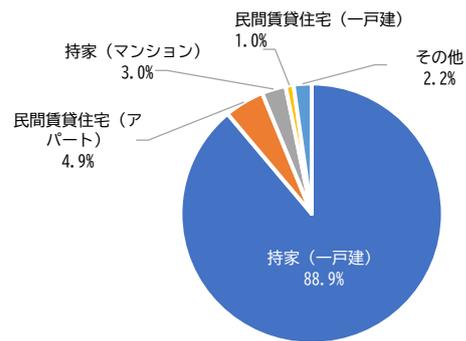


【問9】現在どのような住宅にお住まいですか。【〇は1つ】

「持家（一戸建）」が88.9%と最も多く、ついで「民間賃貸住宅（アパート）」が4.9%、「持家（マンション）」が3.0%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|--------------|-----|--------|
| 持家（一戸建） | 361 | 88.9% |
| 持家（マンション） | 12 | 3.0% |
| 持家（長屋） | 2 | 0.5% |
| 民間賃貸住宅（一戸建） | 4 | 1.0% |
| 民間賃貸住宅（アパート） | 20 | 4.9% |
| 公営住宅（市営・県営） | 4 | 1.0% |
| 公社・公団住宅（賃貸） | 1 | 0.2% |
| 社宅・官舎・寮 | 1 | 0.2% |
| その他 | 1 | 0.2% |
| 無回答・無効 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

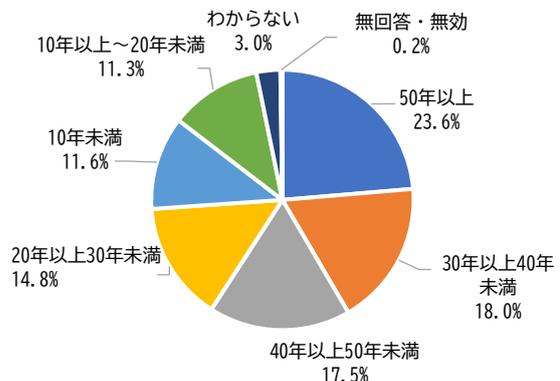


【問10】お住まいの住宅の築年数はどのくらいですか。【〇は1つ】

「50年以上」が23.6%と最も多く、ついで「30年以上40年未満」が18.0%、「40年以上50年未満」が17.5%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-------------|-----|--------|
| 10年未満 | 47 | 11.6% |
| 10年以上～20年未満 | 46 | 11.3% |
| 20年以上30年未満 | 60 | 14.8% |
| 30年以上40年未満 | 73 | 18.0% |
| 40年以上50年未満 | 71 | 17.5% |
| 50年以上 | 96 | 23.6% |
| わからない | 12 | 3.0% |
| 無回答・無効 | 1 | 0.2% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

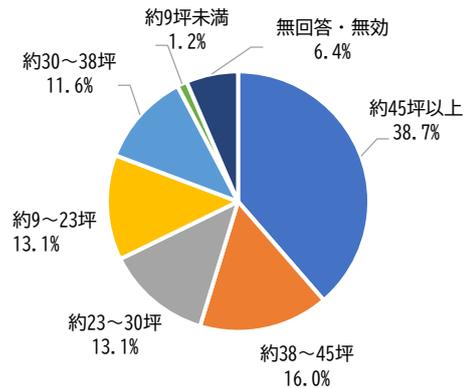
| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



【問11】お住まいの住宅の延べ床面積をお聞きます。【〇は1つ】

「150㎡以上（約45坪以上）」が38.7%と最も多く、ついで「125～150㎡未満（約38～45坪）」が16.0%、「30～75㎡未満（約9～23坪）」が13.1%、「75～100㎡未満（約23～30坪）」が13.1%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|---------------------|-----|--------|
| 30㎡未満（約9坪未満） | 5 | 1.2% |
| 30～75㎡未満（約9～23坪） | 53 | 13.1% |
| 75～100㎡未満（約23～30坪） | 53 | 13.1% |
| 100～125㎡未満（約30～38坪） | 47 | 11.6% |
| 125～150㎡未満（約38～45坪） | 65 | 16.0% |
| 150㎡以上（約45坪以上） | 157 | 38.7% |
| 無回答・無効 | 26 | 6.4% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |



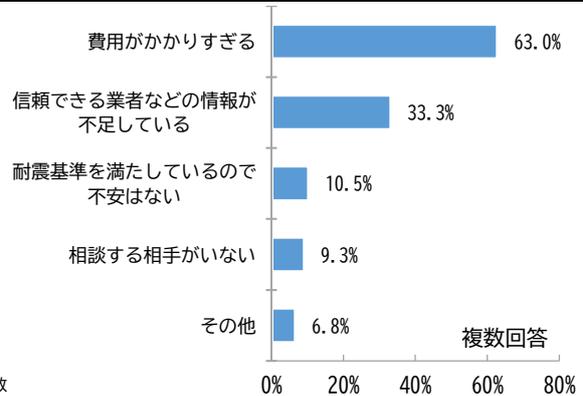
| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 26 | 6.4% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

【問12】問9で「持家（一戸建て）」、「持家（マンション）」、「持家（長屋）」を選んだ方にお聞きます。

昭和55年以前に建築された住宅にお住まいの方にお聞きます。住宅の耐震対策を行うにあたり、不安に思っていることは何ですか。【〇は2つまで】

「費用がかかりすぎる」が63.0%と最も多く、ついで「信頼できる業者などの情報が不足している」が33.3%、「耐震基準を満たしているので不安はない」が10.5%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|---------------------|-----|--------|
| 費用がかかりすぎる | 102 | 63.0% |
| 信頼できる業者などの情報が不足している | 54 | 33.3% |
| 相談する相手がいない | 15 | 9.3% |
| 耐震基準を満たしているので不安はない | 17 | 10.5% |
| その他 | 11 | 6.8% |
| 無回答・無効 | 15 | 9.3% |
| 回答者数 | 162 | 100.0% |



| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 15 | 3.7% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

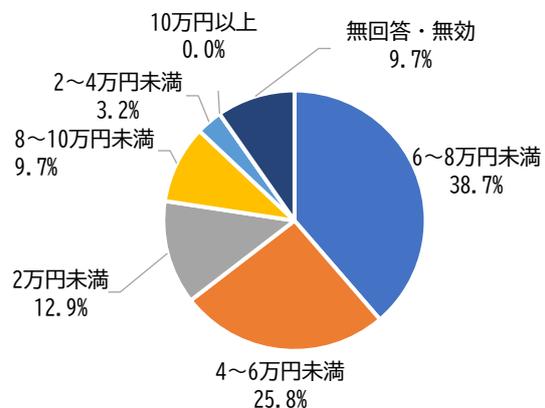
※ 回答者数は、問9で持家（1、2、3）で、問10で築40年以上の住宅にお住まいの方の人数

【問13】問9で「民間賃貸住宅（一戸建）」、「民間賃貸住宅（アパート）」、「公営住宅（市営・県営）」、「公社・公団住宅（賃貸）」、「社宅・官舎・寮」、「その他」を選んだ方にお聞きます。

①家賃の月額はいくらですか。【〇は1つ】

「6～8万円未満」が38.7%と最も多く、ついで「4～6万円未満」が25.8%、「2万円未満」が12.9%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|----------|----|--------|
| 2万円未満 | 4 | 12.9% |
| 2～4万円未満 | 1 | 3.2% |
| 4～6万円未満 | 8 | 25.8% |
| 6～8万円未満 | 12 | 38.7% |
| 8～10万円未満 | 3 | 9.7% |
| 10万円以上 | 0 | 0.0% |
| 無回答・無効 | 3 | 9.7% |
| 回答者数 | 31 | 100.0% |



| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 無効 | 2 | 0.5% |

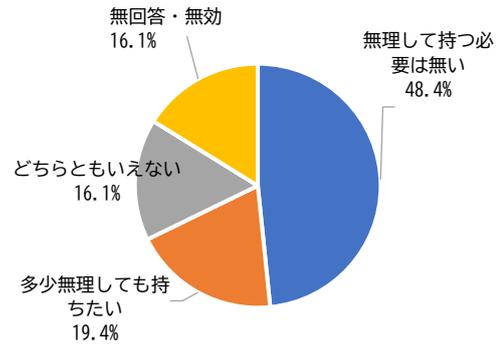
※ 無効は、その他欄に金額以外が記入されている場合など

②マイホームを持つことに対してどのようにお考えですか。【〇は1つ】

「無理して持つ必要は無い」が48.4%と最も多く、ついで「多少無理しても持ちたい」が19.4%、「どちらともいえない」が16.1%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-------------|----|--------|
| 無理して持つ必要は無い | 15 | 48.4% |
| 多少無理しても持ちたい | 6 | 19.4% |
| どちらともいえない | 5 | 16.1% |
| 無回答・無効 | 5 | 16.1% |
| 回答者数 | 31 | 100.0% |

| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 5 | 1.2% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

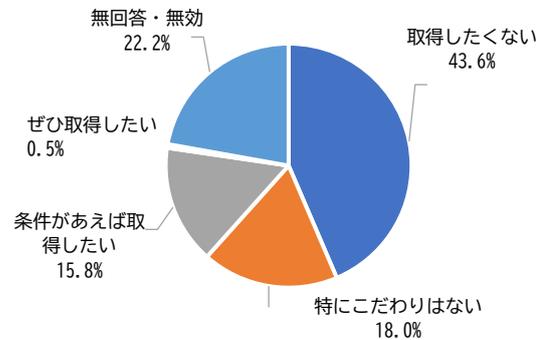


【問14】新規で中古住宅を取得することについてどのようにお考えですか。【〇は1つ】

「取得したくない」が43.6%と最も多く、ついで「特にこだわりはない」が18.0%、「条件があえば取得したい」が15.8%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-------------|-----|--------|
| ぜひ取得したい | 2 | 0.5% |
| 条件があえば取得したい | 64 | 15.8% |
| 取得したくない | 177 | 43.6% |
| 特にこだわりはない | 73 | 18.0% |
| 無回答・無効 | 90 | 22.2% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|----|-------|
| 無回答 | 90 | 22.2% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



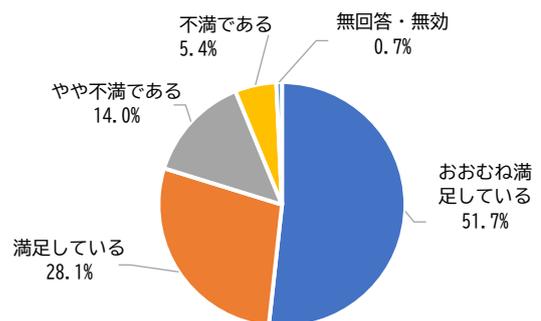
【問15】現在の住宅についてお聞きします。

①どの程度満足されていますか。【〇は1つ】

「おおむね満足している」が51.7%と最も多く、ついで「満足している」が28.1%、「やや不満である」が14.0%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 満足している | 114 | 28.1% |
| おおむね満足している | 210 | 51.7% |
| やや不満である | 57 | 14.0% |
| 不満である | 22 | 5.4% |
| 無回答・無効 | 3 | 0.7% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 3 | 0.7% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

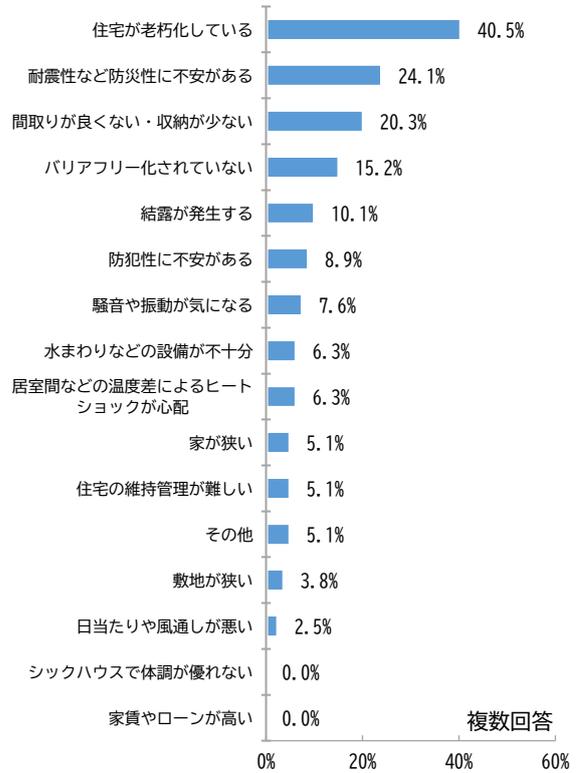


②①で「やや不満である」または「不満である」を選んだ方にお聞きします。

現在の住宅について不満な点や困っていることは何ですか。[○は3つまで]

「住宅が老朽化している」が40.5%と最も多く、ついで「耐震性など防災性に不安がある」が24.1%、「間取りが良くない・収納が少ない」が20.3%となっています。

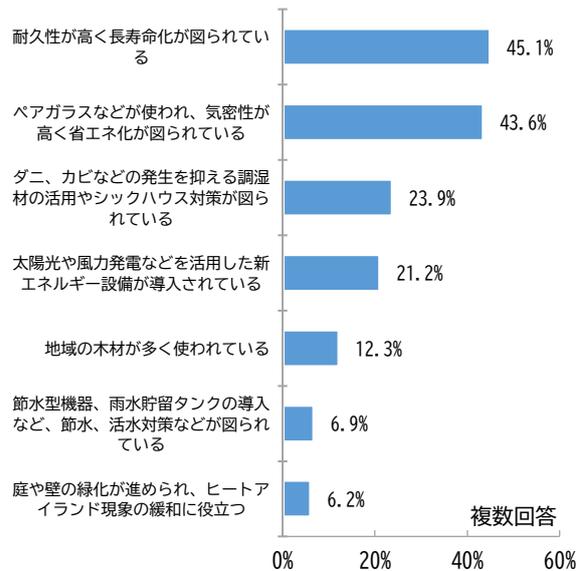
| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------------------|----|--------|
| 住宅が老朽化している | 32 | 40.5% |
| 日当たりや風通しが悪い | 2 | 2.5% |
| 家が狭い | 4 | 5.1% |
| 敷地が狭い | 3 | 3.8% |
| 間取りが良くない・収納が少ない | 16 | 20.3% |
| 水まわりなどの設備が不十分 | 5 | 6.3% |
| 耐震性など防災性に不安がある | 19 | 24.1% |
| 防犯性に不安がある | 7 | 8.9% |
| バリアフリー化されていない | 12 | 15.2% |
| シックハウスで体調が優れない | 0 | 0.0% |
| 結露が発生する | 8 | 10.1% |
| 騒音や振動が気になる | 6 | 7.6% |
| 住宅の維持管理が難しい | 4 | 5.1% |
| 家賃やローンが高い | 0 | 0.0% |
| 居室間などの温度差によるヒートショックが心配 | 5 | 6.3% |
| その他 | 4 | 5.1% |
| 無回答・無効 | 28 | 35.4% |
| 回答者数 | 79 | 100.0% |
| 無回答 | 28 | 6.9% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



【問16】住宅における環境対策として興味があるものは何ですか。[○は2つまで]

「耐久性が高く長寿命化が図られている」が45.1%と最も多く、ついで「ペアガラスなどが使われ、気密性が高く省エネ化が図られている」が43.6%、「ダニ、カビなどの発生を抑える調湿材の活用やシックハウス対策が図られている」が23.9%となっています。

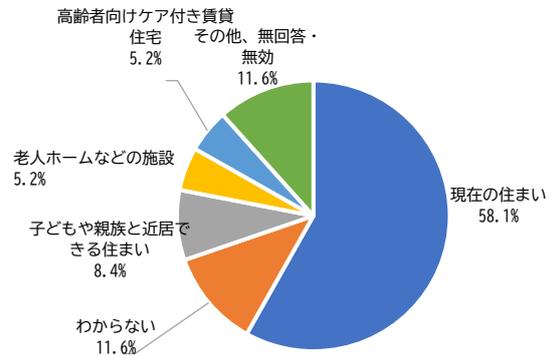
| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|--------------------------------------|-----|--------|
| 地域の木材が多く使われている | 50 | 12.3% |
| 耐久性が高く長寿命化が図られている | 183 | 45.1% |
| ペアガラスなどが使われ、気密性が高く省エネ化が図られている | 177 | 43.6% |
| 庭や壁の緑化が進められ、ヒートアイランド現象の緩和に役立つ | 25 | 6.2% |
| 太陽光や風力発電などを活用した新エネルギー設備が導入されている | 86 | 21.2% |
| 節水型機器、雨水貯留タンクの導入など、節水、活水対策などが図られている | 28 | 6.9% |
| ダニ、カビなどの発生を抑える調湿材の活用やシックハウス対策が図られている | 97 | 23.9% |
| 無回答・無効 | 40 | 9.9% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |
| 無回答 | 39 | 9.6% |
| 無効 | 1 | 0.2% |



【問17】高齢期にどのような住宅で暮らしたいですか。【〇は1つ】

「現在の住まい」が58.1%と最も多く、ついで「わからない」が11.6%、「子どもや親族と近居できる住まい」が8.4%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------------|-----|--------|
| 現在の住まい | 236 | 58.1% |
| 将来新築または購入する予定の住居 | 12 | 3.0% |
| 安価な家賃の公営住宅 | 6 | 1.5% |
| 老人ホームなどの施設 | 21 | 5.2% |
| 高齢者向けケア付き賃貸住宅 | 21 | 5.2% |
| グループホーム | 4 | 1.0% |
| 子どもや孫と同居できる住まい | 11 | 2.7% |
| 子どもや親族と近居できる住まい | 34 | 8.4% |
| わからない | 47 | 11.6% |
| その他 | 8 | 2.0% |
| 無回答・無効 | 6 | 1.5% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |



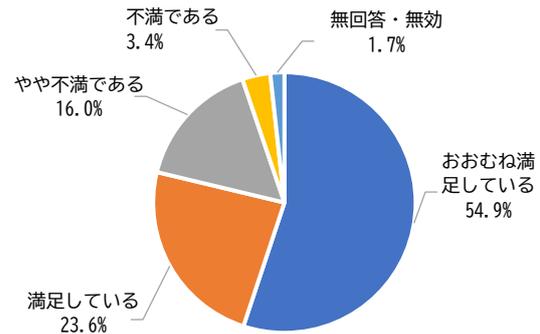
| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 3 | 0.7% |
| 無効 | 3 | 0.7% |

【問18】現在の住環境についてお聞きします。

①どの程度満足されていますか。【〇は1つ】

「おおむね満足している」が54.9%と最も多く、ついで「満足している」が23.6%、「やや不満である」が16.0%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------|-----|-------|
| 満足している | 96 | 23.6% |
| おおむね満足している | 223 | 54.9% |
| やや不満である | 65 | 16.0% |
| 不満である | 14 | 3.4% |
| 無回答・無効 | 7 | 1.7% |
| 回答者数 | 405 | 99.8% |



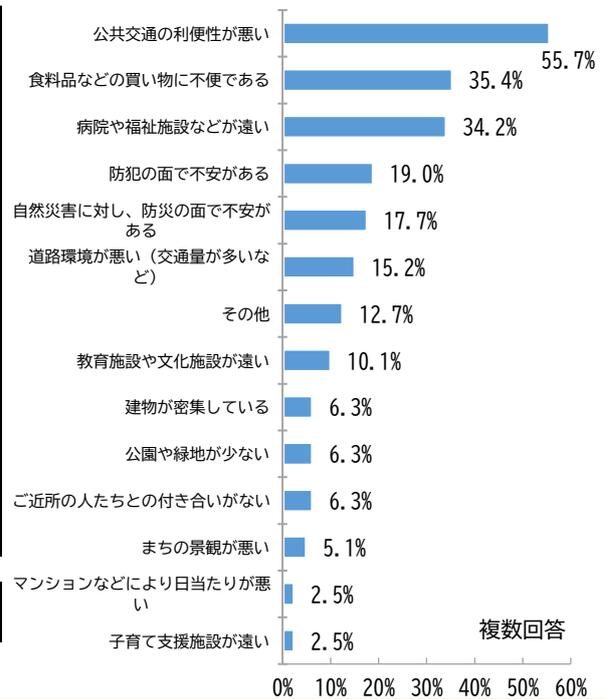
| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 6 | 1.5% |
| 無効 | 1 | 0.2% |

②①で「やや不満である」または「不満である」を選んだ方にお聞きします。
 現在住んでいる場所の周辺環境について不満な点や困っていることは何ですか。[〇は3つまで]

「公共交通の利便性が悪い」が55.7%と最も多く、ついで「食料品などの買い物に不便である」が35.4%、「病院や福祉施設などが遠い」が34.2%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|--------------------|----|--------|
| 公共交通の利便性が悪い | 44 | 55.7% |
| 道路環境が悪い(交通量が多いなど) | 12 | 15.2% |
| 建物が密集している | 5 | 6.3% |
| マンションなどにより日当たりが悪い | 2 | 2.5% |
| 食料品などの買い物に不便である | 28 | 35.4% |
| 公園や緑地が少ない | 5 | 6.3% |
| 病院や福祉施設などが遠い | 27 | 34.2% |
| 教育施設や文化施設が遠い | 8 | 10.1% |
| 子育て支援施設が遠い | 2 | 2.5% |
| 防犯の面で不安がある | 15 | 19.0% |
| 自然災害に対し、防災の面で不安がある | 14 | 17.7% |
| まちの景観が悪い | 4 | 5.1% |
| ご近所の人たちとの付き合いがない | 5 | 6.3% |
| その他 | 10 | 12.7% |
| 無回答・無効 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 79 | 100.0% |

| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

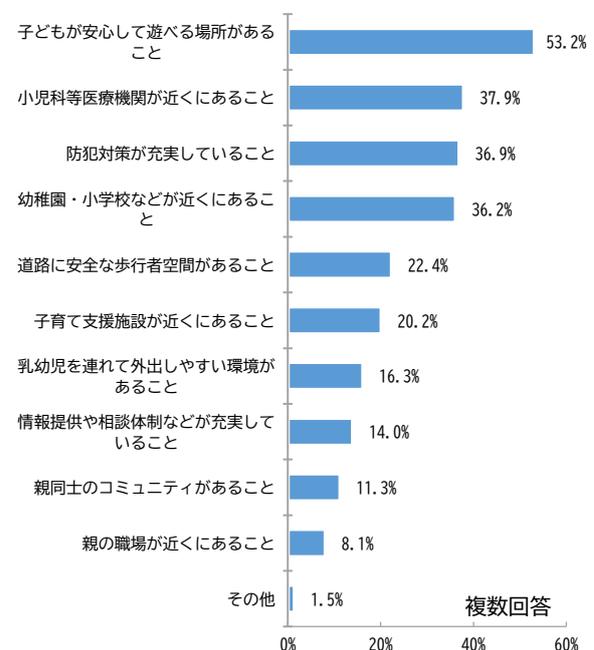


【問19】子どもを育てやすい住環境として重要だと思うことは何ですか。[〇は3つまで]

「子どもが安心して遊べる場所があること」が53.2%と最も多く、ついで「小児科等医療機関が近くにあること」が37.9%、「防犯対策が充実していること」が36.9%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|----------------------|-----|--------|
| 子どもが安心して遊べる場所があること | 216 | 53.2% |
| 道路に安全な歩行者空間があること | 91 | 22.4% |
| 防犯対策が充実していること | 150 | 36.9% |
| 幼稚園・小学校などが近くにあること | 147 | 36.2% |
| 小児科等医療機関が近くにあること | 154 | 37.9% |
| 乳幼児を連れて外出しやすい環境があること | 66 | 16.3% |
| 子育て支援施設が近くにあること | 82 | 20.2% |
| 情報提供や相談体制などが充実していること | 57 | 14.0% |
| 親同士のコミュニティがあること | 46 | 11.3% |
| 親の職場が近くにあること | 33 | 8.1% |
| その他 | 6 | 1.5% |
| 無回答・無効 | 15 | 3.7% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 15 | 3.7% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

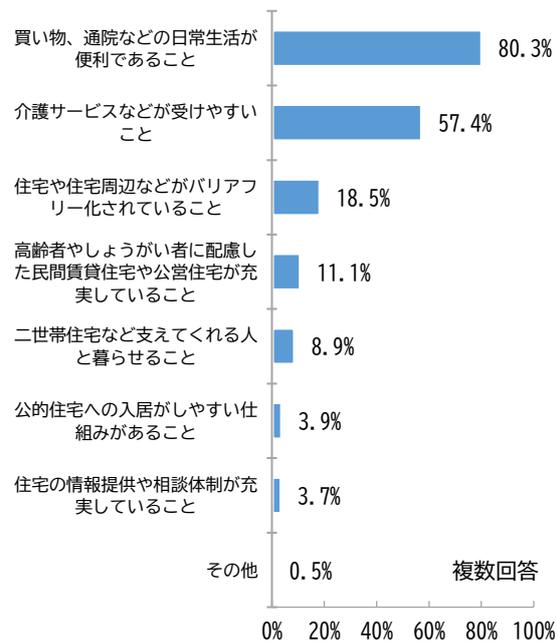


【問20】高齢者やしょうがい者が暮らしやすい住環境として重要だと思うことは何ですか。【〇は2つまで】

「買い物、通院などの日常生活が便利であること」が80.3%と最も多く、ついで「介護サービスなどが受けやすいこと」が57.4%、「住宅や住宅周辺などがバリアフリー化されていること」が18.5%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-------------------------------------|-----|--------|
| 買い物、通院などの日常生活が便利であること | 326 | 80.3% |
| 住宅や住宅周辺などがバリアフリー化されていること | 75 | 18.5% |
| 高齢者やしょうがい者に配慮した民間賃貸住宅や公営住宅が充実していること | 45 | 11.1% |
| 住宅の情報提供や相談体制が充実していること | 15 | 3.7% |
| 公的住宅への入居がしやすい仕組みがあること | 16 | 3.9% |
| 二世帯住宅など支えてくれる人と暮らせること | 36 | 8.9% |
| 介護サービスなどが受けやすいこと | 233 | 57.4% |
| その他 | 2 | 0.5% |
| 無回答・無効 | 13 | 3.2% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 13 | 3.2% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

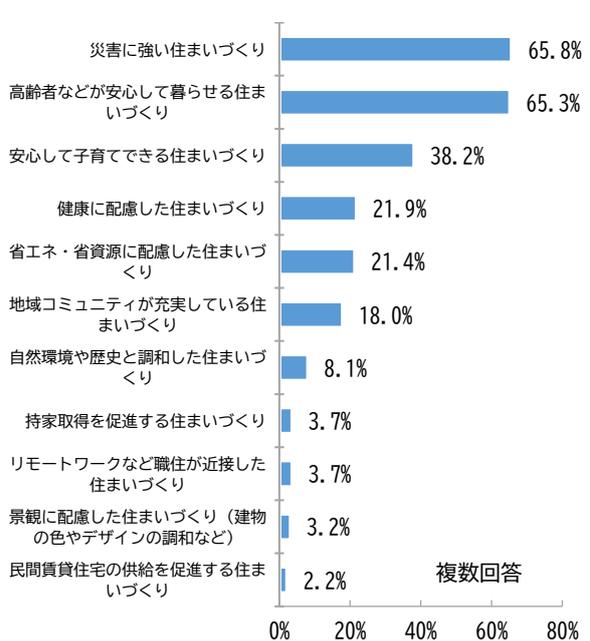


【問21】今後の住まいづくりにおいて、どのようなものが必要だと思いますか。【〇は3つまで】

「災害に強い住まいづくり」が65.8%と最も多く、ついで「高齢者などが安心して暮らせる住まいづくり」が65.3%、「安心して子育てできる住まいづくり」が38.2%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-------------------------------|-----|--------|
| 災害に強い住まいづくり | 267 | 65.8% |
| 健康に配慮した住まいづくり | 89 | 21.9% |
| 省エネ・省資源に配慮した住まいづくり | 87 | 21.4% |
| 景観に配慮した住まいづくり（建物の色やデザインの調和など） | 13 | 3.2% |
| 高齢者などが安心して暮らせる住まいづくり | 265 | 65.3% |
| 安心して子育てできる住まいづくり | 155 | 38.2% |
| 地域コミュニティが充実している住まいづくり | 73 | 18.0% |
| 自然環境や歴史と調和した住まいづくり | 33 | 8.1% |
| 民間賃貸住宅の供給を促進する住まいづくり | 9 | 2.2% |
| 持家取得を促進する住まいづくり | 15 | 3.7% |
| リモートワークなど職住が近接した住まいづくり | 15 | 3.7% |
| 無回答・無効 | 10 | 2.5% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

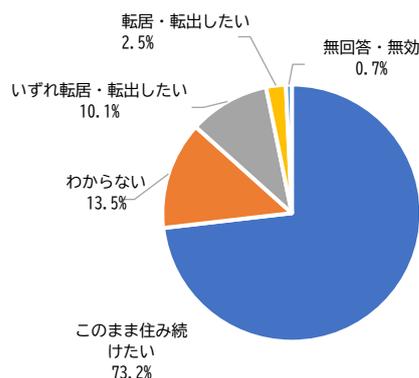
| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 10 | 2.5% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



【問22】現在の住まいに住み続けたいですか。【〇は1つ】

「このまま住み続けたい」が73.2%と最も多く、ついで「わからない」が13.5%、「いずれ転居・転出したい」が10.1%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-------------|-----|--------|
| このまま住み続けたい | 297 | 73.2% |
| いずれ転居・転出したい | 41 | 10.1% |
| 転居・転出したい | 10 | 2.5% |
| わからない | 55 | 13.5% |
| 無回答・無効 | 3 | 0.7% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |



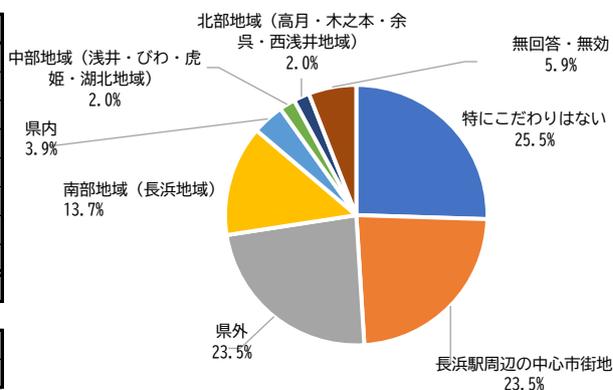
| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 3 | 0.7% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

【問23】問22で「いずれ転居・転出したい」または「転居・転出したい」を選んだ方にお聞きします。

①長浜市内で転居または長浜市外に転出する場合、どこに住みたいですか。【〇は1つ】

「特にこだわりはない」が25.5%と最も多く、ついで「長浜駅周辺の中心市街地」が23.5%、「県外」が23.5%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|-----------------------|----|--------|
| 長浜駅周辺の中心市街地 | 12 | 23.5% |
| 南部地域（長浜地域） | 7 | 13.7% |
| 中部地域（浅井・びわ・虎姫・湖北地域） | 1 | 2.0% |
| 北部地域（高月・木之本・余呉・西浅井地域） | 1 | 2.0% |
| 県内 | 2 | 3.9% |
| 県外 | 12 | 23.5% |
| 特にこだわりはない | 13 | 25.5% |
| 無回答・無効 | 3 | 5.9% |
| 回答者数 | 51 | 100.0% |

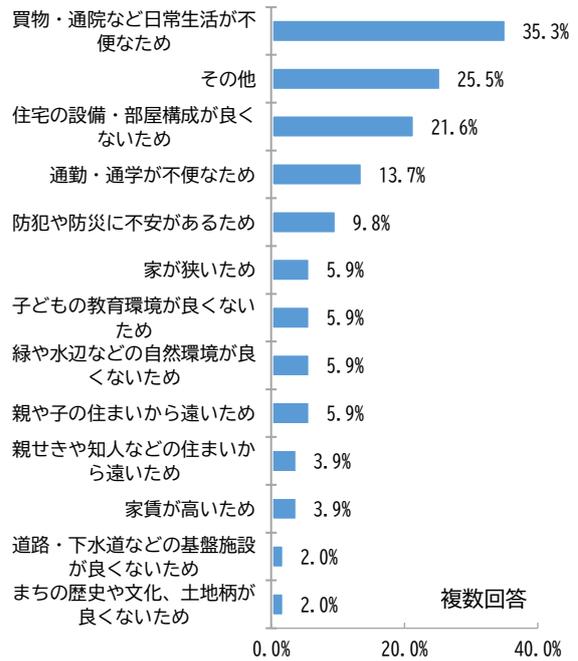


| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 3 | 0.7% |
| 無効 | 0 | 0.0% |

②長浜市内で転居または長浜市外に転出する場合、その理由は何ですか。【〇は3つまで】

「買物・通院など日常生活が不便なため」が35.3%と最も多く、ついで「その他」が25.5%、「住宅の設備・部屋構成が良くないため」が21.6%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|----------------------|----|--------|
| 家が狭いため | 3 | 5.9% |
| 住宅の設備・部屋構成が良くないため | 11 | 21.6% |
| 道路・下水道などの基盤施設が良くないため | 1 | 2.0% |
| 買物・通院など日常生活が不便なため | 18 | 35.3% |
| 通勤・通学が不便なため | 7 | 13.7% |
| 子どもの教育環境が良くないため | 3 | 5.9% |
| まちの歴史や文化、土地柄が良くないため | 1 | 2.0% |
| 緑や水辺などの自然環境が良くないため | 3 | 5.9% |
| 親や子の住まいから遠いため | 3 | 5.9% |
| 親せきや知人などの住まいから遠いため | 2 | 3.9% |
| 防犯や防災に不安があるため | 5 | 9.8% |
| 家賃が高いため | 2 | 3.9% |
| その他 | 13 | 25.5% |
| 無回答・無効 | 11 | 21.6% |
| 回答者数 | 51 | 100.0% |
| 無回答 | 11 | 2.7% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



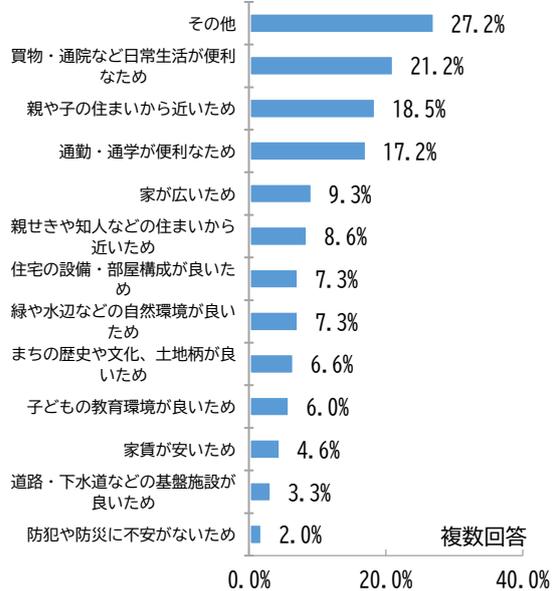
「その他」は、就職や経済的負担、雪や車生活への不安、自治会など地域活動への負担感が挙げられています。

【問24】転居・転入されたことがある方にお聞きします。

長浜市内で転居または長浜市内に転入された理由は何ですか。【〇は3つまで】

「その他」が27.2%と最も多く、ついで「買物・通院など日常生活が便利のため」が21.2%、「親や子の住まいから近いため」が18.5%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|--------------------|-----|--------|
| 家が広いため | 14 | 9.3% |
| 住宅の設備・部屋構成が良いため | 11 | 7.3% |
| 道路・下水道などの基盤施設が良いため | 5 | 3.3% |
| 買物・通院など日常生活が便利のため | 32 | 21.2% |
| 通勤・通学が便利のため | 26 | 17.2% |
| 子どもの教育環境が良いため | 9 | 6.0% |
| まちの歴史や文化、土地柄が良いため | 10 | 6.6% |
| 緑や水辺などの自然環境が良いため | 11 | 7.3% |
| 親や子の住まいから近いため | 28 | 18.5% |
| 親せきや知人などの住まいから近いため | 13 | 8.6% |
| 防犯や防災に不安がないため | 3 | 2.0% |
| 家賃が安い | 7 | 4.6% |
| その他 | 41 | 27.2% |
| 無回答・無効 | 20 | 13.2% |
| 回答者数 | 151 | 100.0% |
| 無回答 | 20 | 4.9% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



「その他」は、結婚や家族の事情、就職・転勤、住宅取得による住み替えといった回答が多く、立ち退きや介護などの理由も見られました。

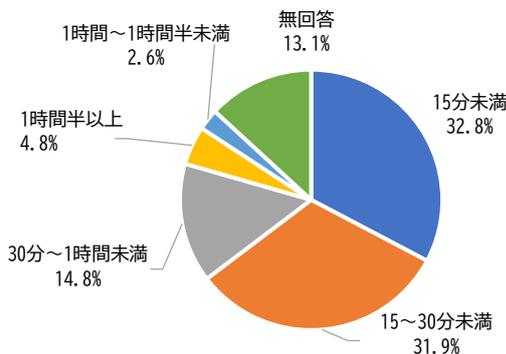
【問25】通勤や通学をされている方に、あなたの通勤や通学の状況についてお聞きします。

①通勤（通学）にかかる片道時間はどのくらいですか。【〇は1つ】

「15分未満」が32.8%と最も多く、ついで「15～30分未満」が31.9%、「30分～1時間未満」が14.8%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 15分未満 | 75 | 32.8% |
| 15～30分未満 | 73 | 31.9% |
| 30分～1時間未満 | 34 | 14.8% |
| 1時間～1時間半未満 | 6 | 2.6% |
| 1時間半以上 | 11 | 4.8% |
| 無回答 | 30 | 13.1% |
| 回答者数 | 229 | 100.0% |

| | | |
|-----|-----|-------|
| 無回答 | 30 | 7.4% |
| 無効 | 148 | 36.5% |



※ 問2で「会社員・公務員等」、「自営業」、「農林漁業従事者」、「学生」、「その他」と答えた方の集計

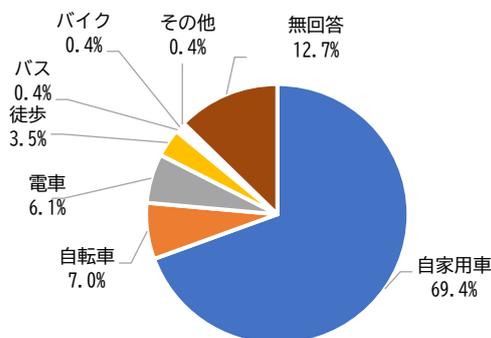
※ 無効は無職の方が回答している場合など

②通勤（通学）のための主な交通手段は何ですか。【〇は1つ】

「自家用車」が69.4%と最も多く、ついで「自転車」が7.0%、「電車」が6.1%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------|-----|--------|
| 徒歩 | 8 | 3.5% |
| 自転車 | 16 | 7.0% |
| 自家用車 | 159 | 69.4% |
| バス | 1 | 0.4% |
| 電車 | 14 | 6.1% |
| バイク | 1 | 0.4% |
| その他 | 1 | 0.4% |
| 無回答 | 29 | 12.7% |
| 回答者数 | 229 | 100.0% |

| | | |
|-----|-----|-------|
| 無回答 | 29 | 7.1% |
| 無効 | 150 | 36.9% |



※ 問2で「会社員・公務員等」、「自営業」、「農林漁業従事者」、「学生」、「その他」と答えた方の集計

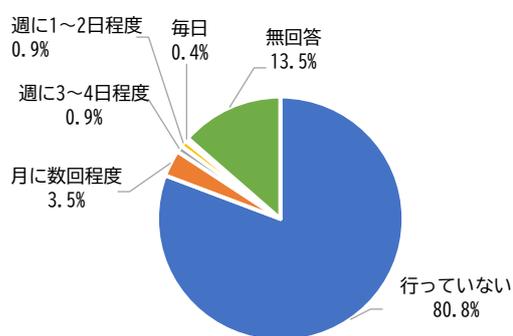
※ 無効は無職の方が回答している場合など

③在宅勤務（またはオンライン授業）を行っていますか。【〇は1つ】

「行っていない」が80.8%と最も多く、ついで「月に数回程度」が3.5%、「週に3～4日程度」が0.9%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|----------|-----|--------|
| 行っていない | 185 | 80.8% |
| 毎日 | 1 | 0.4% |
| 週に3～4日程度 | 2 | 0.9% |
| 週に1～2日程度 | 2 | 0.9% |
| 月に数回程度 | 8 | 3.5% |
| 無回答 | 31 | 13.5% |
| 回答者数 | 229 | 100.0% |

| | | |
|-----|-----|-------|
| 無回答 | 31 | 7.6% |
| 無効 | 152 | 37.4% |



※ 問2で「会社員・公務員等」、「自営業」、「農林漁業従事者」、「学生」、「その他」と答えた方の集計

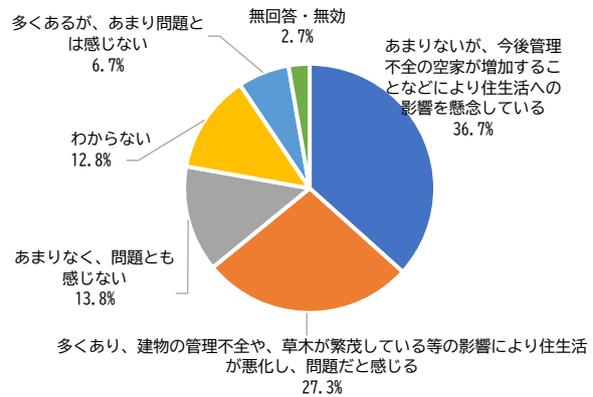
※ 無効は無職の方が回答している場合など

【問26】空き家についてお聞きします。

①お住まいの周辺に空き家や空き地があり、地域の問題になっていると感じますか【〇は1つ】

「あまりないが、今後管理不全の空家が増加することなどにより住生活への影響を懸念している」が36.7%と最も多く、ついで「多くあり、建物の管理不全や、草木が繁茂している等の影響により住生活が悪化し、問題だと感じる」が27.3%、「あまりなく、問題とも感じない」が13.8%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|---|-----|--------|
| 多くあり、建物の管理不全や、草木が繁茂している等の影響により住生活が悪化し、問題だと感じる | 111 | 27.3% |
| 多くあるが、あまり問題とは感じない | 27 | 6.7% |
| あまりないが、今後管理不全の空家が増加することなどにより住生活への影響を懸念している | 149 | 36.7% |
| あまりなく、問題とも感じない | 56 | 13.8% |
| わからない | 52 | 12.8% |
| 無回答・無効 | 11 | 2.7% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

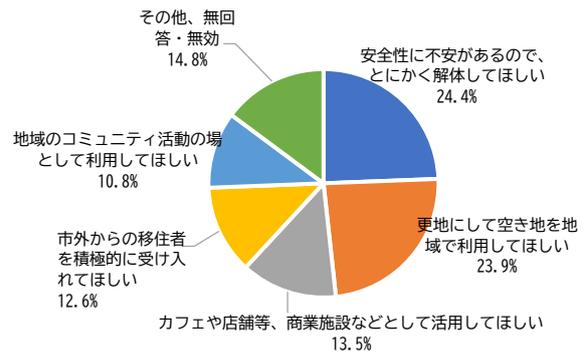


| | | |
|-----|---|------|
| 無回答 | 9 | 2.2% |
| 無効 | 2 | 0.5% |

②市内の空き家についてどのように対応・利用してほしいと思いますか【〇は1つ】

「安全性に不安があるので、とにかく解体してほしい」が24.4%と最も多く、ついで「更地にして空き地を地域で利用してほしい」が23.9%、「カフェや店舗等、商業施設などとして活用してほしい」が13.5%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|------------------------------|-----|--------|
| 安全性に不安があるので、とにかく解体してほしい | 99 | 24.4% |
| 更地にして空き地を地域で利用してほしい | 97 | 23.9% |
| 地域のコミュニティ活動の場として利用してほしい | 44 | 10.8% |
| 市外からの移住者を積極的に受け入れてほしい | 51 | 12.6% |
| カフェや店舗等、商業施設などとして活用してほしい | 55 | 13.5% |
| ゲストハウスや民泊など地域交流の拠点として活用してほしい | 9 | 2.2% |
| サテライトオフィスなど企業活動で利用してほしい | 5 | 1.2% |
| その他 | 8 | 2.0% |
| 無回答・無効 | 38 | 9.4% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |



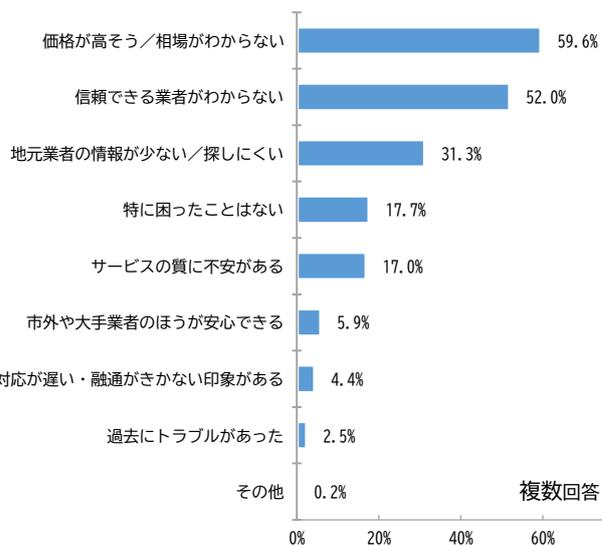
| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 36 | 8.9% |
| 無効 | 2 | 0.5% |

③地元の住宅関連サービス（リフォーム業者、大工、点検・修繕業者など）を利用するうえで、課題や不安に感じていることがあれば教えてください。【〇は3つまで】

「価格が高そう／相場がわからない」が59.6%と最も多く、ついで「信頼できる業者がわからない」が52.0%、「地元業者の情報が少ない／探しにくい」が31.3%となっています。

| 選択肢 | 合計 | 割合 |
|--------------------|-----|--------|
| 価格が高そう／相場がわからない | 242 | 59.6% |
| 信頼できる業者がわからない | 211 | 52.0% |
| サービスの質に不安がある | 69 | 17.0% |
| 地元業者の情報が少ない／探しにくい | 127 | 31.3% |
| 市外や大手業者のほうが安心できる | 24 | 5.9% |
| 対応が遅い・融通がきかない印象がある | 18 | 4.4% |
| 過去にトラブルがあった | 10 | 2.5% |
| 特に困ったことはない | 72 | 17.7% |
| その他 | 1 | 0.2% |
| 無回答・無効 | 29 | 7.1% |
| 回答者数 | 406 | 100.0% |

| | | |
|-----|----|------|
| 無回答 | 29 | 7.1% |
| 無効 | 0 | 0.0% |



長浜市住生活基本計画【概要】

1. 背景と目的

国において、住生活基本法に基づき、『住生活基本計画（全国計画）』が平成18年9月に策定され、平成23年3月に変更されました。

また、滋賀県では、『滋賀県住生活基本計画』を平成18年度に策定され、平成24年3月に見直しされました。

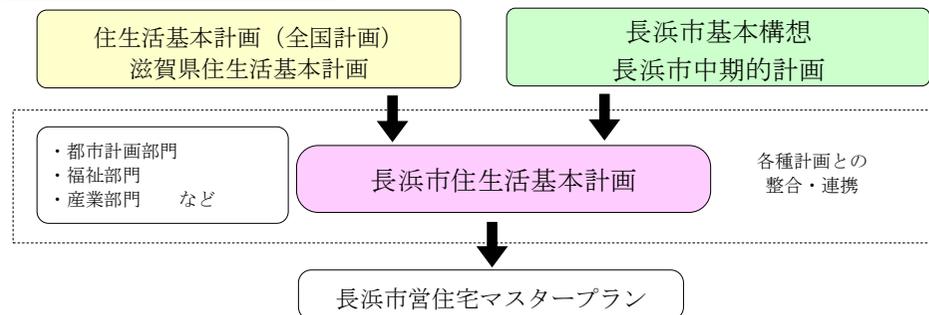
長浜市では、少子高齢化と人口減少が進行し、世帯構成員の減少、地域ごとに異なる住環境、空き家の増加、住宅の安全性の確保、安全対策の必要性の増大といった問題が生じており、これらに対する適切な対応が課題となっています。

こうした状況を受け、長浜市の住生活における理念や目標、施策の展開方向などを定め、住宅政策をより総合的かつ計画に推進していくことを目的として、『長浜市住生活基本計画』を策定することとしました。

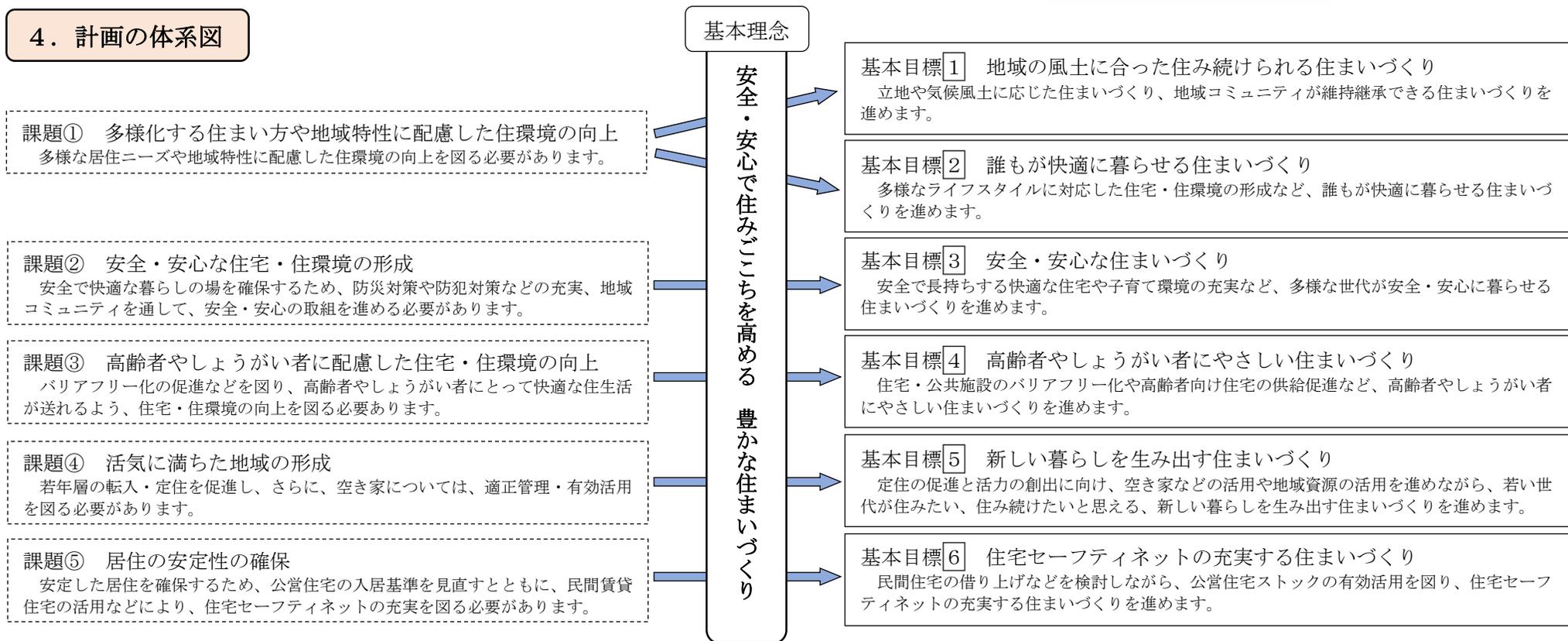
2. 計画期間

本計画の期間は、平成26年度から平成32年度までの7年間とします。

3. 計画の位置づけ



4. 計画の体系図



基本理念

安全・安心で住みごこちを高める
豊かな住まいづくり

基本目標 1

地域の風土に合った住み続けられる住まいづくり

地域資源の活用

森のエネルギー活用促進事業など：森林整備課
古民家の活用支援：建築住宅課

景観形成への配慮

長浜市中高層等建築物に関する指導要綱：
開発建築指導課
景観保全対策事業など：都市計画課
まちなか居住推進事業：

長浜駅周辺まちなか活性化室

歩いて暮らせる生活圏の形成

中心市街地活性化推進事業など：
長浜駅周辺まちなか活性化室
デマンドタクシー運行維持費補助事業など：
都市計画課

多様な公共交通体系の整備

地方バス路線維持費補助事業など：都市計画課
中心市街地活性化推進事業など：
長浜駅周辺まちなか活性化室

基本目標 4

高齢者やしょうがい者にやさしい住まいづくり

住宅などのバリアフリー化の促進

在宅重度しょうがい者住宅改造費事業：
しょうがい福祉課
耐震診断・耐震改修等促進事業：開発建築指導課
高齢者小規模住宅改造経費助成事業など：
高齢福祉介護課
自治会館整備・自治会交付金事業など：
市民協働推進課

高齢者やしょうがい者の居住の安定化

高齢者小規模住宅改造経費助成事業：高齢福祉介護課

高齢者やしょうがい者向けの良質な住宅の供給

地域生活支援事業：しょうがい福祉課
高齢者施設福祉空間等整備事業など：高齢福祉介護課

安心して長く住める住宅の啓発・改修支援

耐震診断・耐震改修等促進事業など：開発建築指導課
住宅相談窓口の設置など：建築住宅課

基本目標 2

誰もが快適に暮らせる住まいづくり

ユニバーサルデザインの促進

しょうがい福祉施設整備支援事業：しょうがい福祉課
子育てバリアフリー施設整備事業：子育て支援課
介護保険住宅改修費支給事業など：高齢福祉介護課

環境負荷低減への配慮

再生可能エネルギー発電施設導入促進事業など：
環境保全課

長浜市産材利用促進事業など：森林整備課

都市緑化推進事業：都市計画課

住宅改修助成制度：建築住宅課

省エネ住宅改修推進制度：税務課

快適な暮らしを支える社会基盤の整備

都市計画法開発許可など：開発建築指導課
ごみの適正処理対策事業：環境保全課
市道整備アクションプログラムなど：道路河川課
水洗化促進事務事業など：上下水道課
駅前シンボルロード整備事業：都市計画課

地域産材を使用した住宅の促進

長浜市産材利用促進事業：森林整備課

基本目標 5

新しい暮らしを生み出す住まいづくり

若い世代を中心とする定住促進

まちなか居住推進事業など：
長浜駅周辺まちなか活性化室
住宅建築助成制度など：建築住宅課

新たな住人の創出・確保

移住・定住促進事業：市民協働推進課
まちなか居住推進事業など：
長浜駅周辺まちなか活性化室

長浜市居住促進事業など：建築住宅課

空き家の適正管理と利活用促進

移住・定住促進事業：市民協働推進課
まちなか居住推進事業など：
長浜駅周辺まちなか活性化室
空き家対策検討事業：建築住宅課

基本目標 3

安全・安心な住まいづくり

防災・防犯施策の強化

耐震診断・耐震改修等促進事業など：
開発建築指導課
自主防災推進事業など：市民協働推進課
自主防災体制づくり事業など：防災危機管理課
地域振興政策：北部振興局地域振興課
雪寒対策：道路河川課
災害要援護者避難支援など：高齢福祉介護課

子育て環境の充実

子育てバリアフリー施設整備事業など：
子育て支援課

長浜市居住促進事業：建築住宅課

地域コミュニティの維持・向上

自治会館整備・自治会交付金事業など：
市民協働推進課

災害要援護者避難支援など：高齢福祉介護課

地域防災力アップ事業など：防災危機管理課

安心して長く住める住宅の啓発・改修支援

耐震診断・耐震改修等促進事業など：
開発建築指導課
住宅相談窓口の設置など：建築住宅課

基本目標 6

住宅セーフティネットの充実する住まいづくり

新たな公営住宅ストックの供給

市営住宅整備事業など：建築住宅課

公営住宅ストックの居住性の向上

市営住宅管理事業など：建築住宅課

公営住宅ストックの有効活用

市営住宅管理事業：建築住宅課